



三菱UFJフィナンシャル・グループ

アユタヤ銀行(BAY)の 株式取得について

2013年7月2日

Quality for You

確かなクオリティを、明日へ。世界へ。

本書には、株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ(以下「当社」という)およびそのグループ会社(以下「当グループ」という)に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。

これらは、当社が現在入手している情報に基づく、本書の作成時点における予測等を基礎として記載されています。また、これらの記述のためには、一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述または前提(仮定)は主観的なものであり、将来において不正確であることが判明したり、将来実現しない可能性があります。

このような事態の原因となりうる不確実性やリスクは多数ありますが、これらに関する追加情報については、当社の決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、アニュアルレポートをご参照下さい。

なお、本書における将来情報に関する記述は上記のとおり本書の日付(またはそこに別途明記された日付)時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

また、本書に記載されている当社ないし当グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。

なお、本書の計数は日本会計基準ベースの数値を使用しています。

<本資料における計数の定義>

連結	: 三菱UFJフィナンシャル・グループ(連結)
単体合算	: 三菱東京UFJ銀行(単体)と三菱UFJ信託銀行(単体)の単純合算
商銀連結	: 三菱東京UFJ銀行(連結)

1. 取引概要

2. 戦略的意義

3. BAYの概要

4. 財務への影響

添付資料

1. 取引概要

BAY株式の 過半数以上を取得

- 株式公開買付 (Voluntary Tender Offer, VTO) によるアユタヤ銀行 (Bank of Ayudhya, BAY) 株式の過半数以上の取得
- 大株主であるGE Capitalは 全保有株式を応募する予定
- ラタナラックグループは引き続き株主として残る意向

VTO価格

- 1株あたり 39タイバーツ
 - 6月28日を基準とした過去3ヶ月間の出来高加重平均価格 (VWAP) に対して15.1% のプレミアム
 - 2013年3月末基準のPBRは2.02x

買収プロセス

- VTOの想定スケジュール
 - 2013年11月上旬に買付を開始し、2013年12月に完了の見込み
 - 事前に関係当局の許認可及びBAYの株主総会決議の取得、その他の諸条件が充足されることを条件

- 2013年11月初旬のVTO開始を想定

2013年7月2日



発表

2013年11月初旬(予定)



VTO
開始

2013年12月(予定)

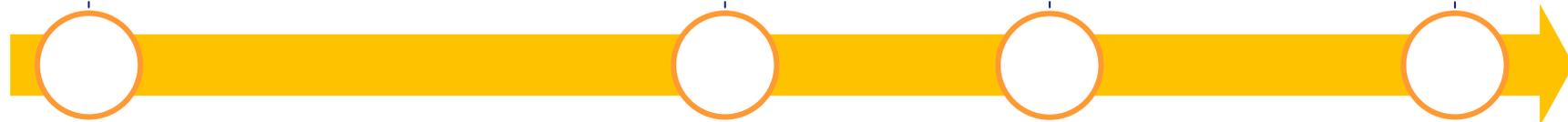


VTO
完了
(株式取得)

未定



統合
BAY/BTMU
バンコック支店

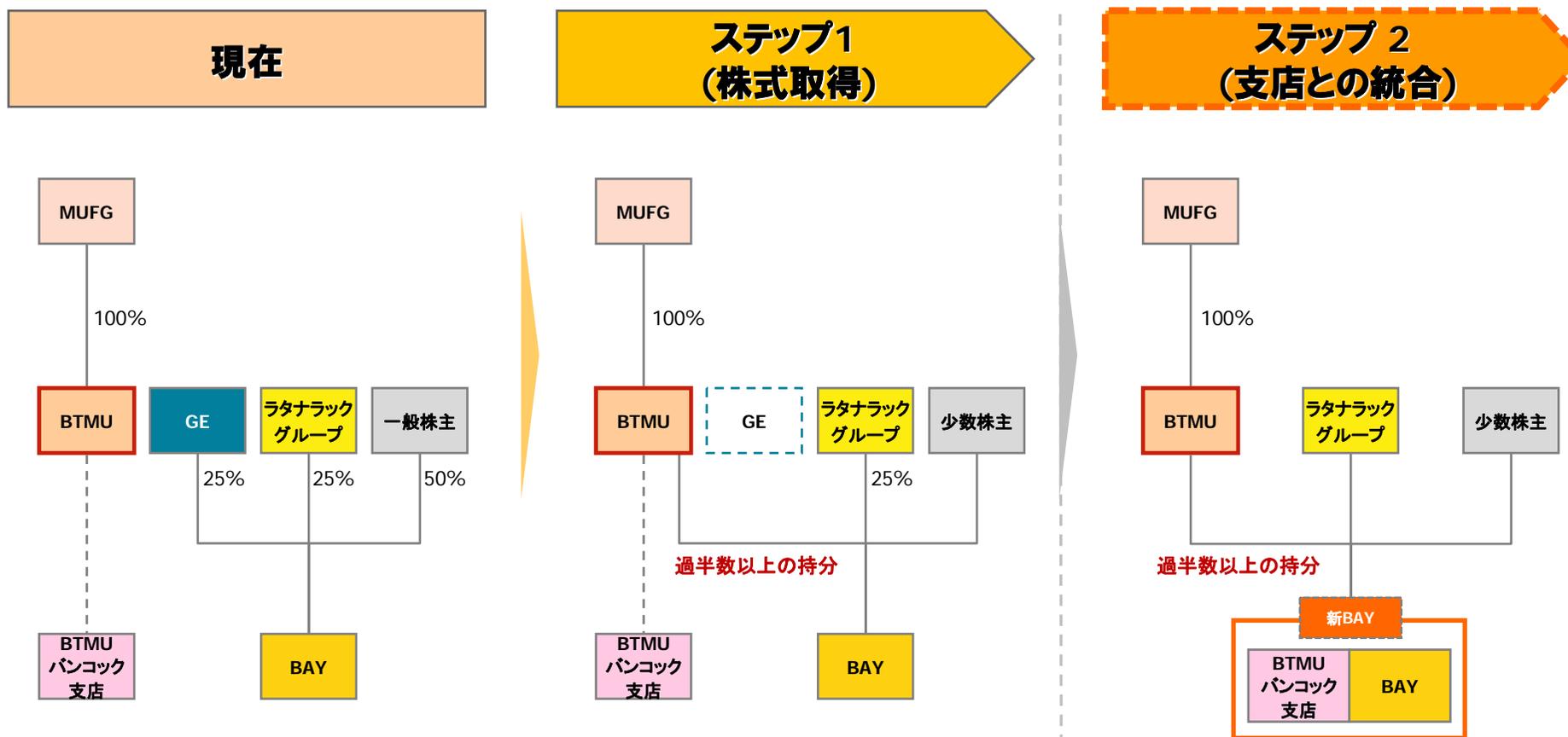


規制当局の承認
(タイ中銀/財務省/商務省/日本金融庁)

取引ストラクチャー



- VTOによりBAY株式の過半数以上の取得を目指す
- BTMUバンコック支店とBAYとの統合について協議予定



BAY (Krungsri)の強み



マーケット順位⁽¹⁾

	順位	マーケットシェア
--	----	----------

リテール

個人ローン	#1	29%
クレジットカード	#1	18%
オートローン	#2	17%

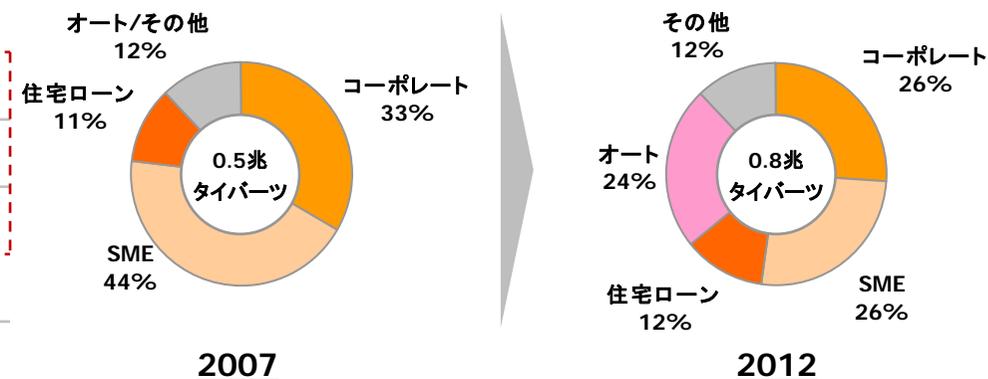
SME	#5	8%
-----	----	----

コーポレート	#5	7%
--------	----	----

支店数	#6	605 ⁽²⁾
-----	----	--------------------

(1) 2013年3月時点、(2) 支店数

貸出ポートフォリオの内訳



2. 戰略的意義

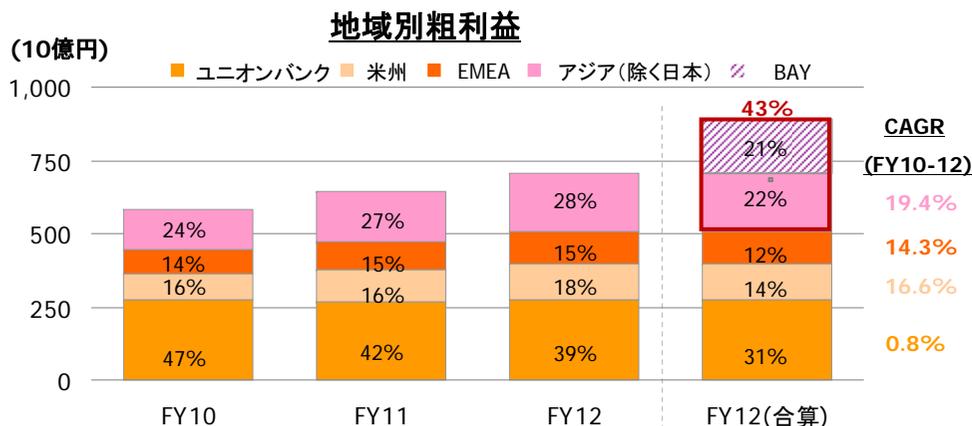
- 本件を通じアジアの銀行セクターにおけるリーディング・ポジションを確保
 - ① グローバル・ベースのポートフォリオ多様化
- アジアの成長を取り込み
 - ② アジアにおける本格的な商業銀行プラットフォームの構築
 - ③ タイにおける「グローバル×ローカル」銀行モデルの推進

グローバル・ベースのポートフォリオ多様化 – アジアの成長取り込み



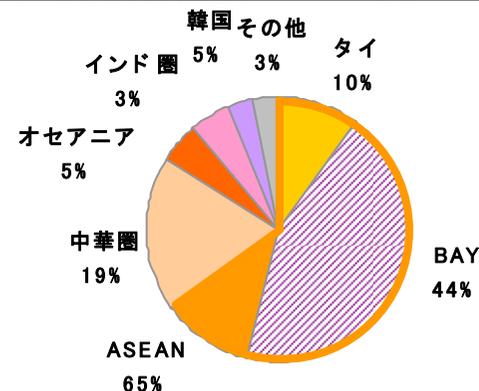
- 本件買収により北米中心からアジアへのポートフォリオシフトを実現
- BAYの事業基盤を活用し、グレーターメコン経済圏での事業を拡大

グローバル・ベースのポートフォリオ



ASEANにおける事業拡大

アジア地域別粗利益(FY2012)(BAY合算)



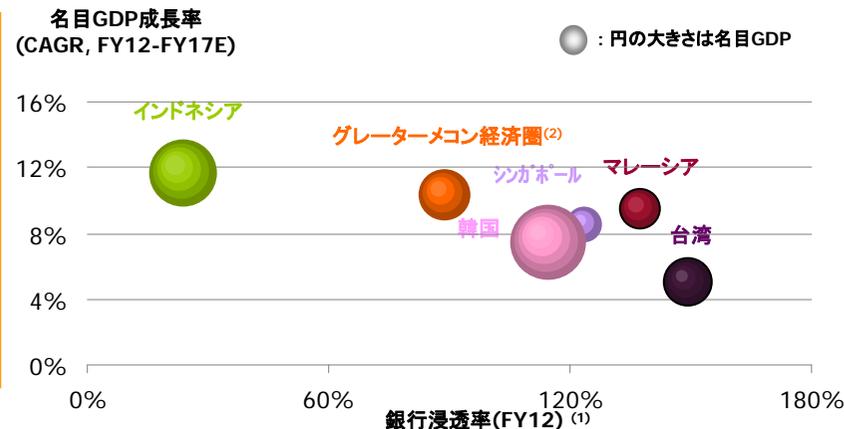
高い成長が期待されるグレーターメコン経済圏



投資対象としてのタイ

- 産業集積の進展 (「東洋のデトロイト」)
- ASEAN共同体(2015年発足予定)における中核的役割
- 日本とは歴史的に緊密な関係

アジアのGDP成長率と銀行浸透率 (1)



(出所) EIU, SNL,

(1) 総貸出金額 / 名目GDP

(2) タイとベトナム

アジアにおける本格的な商業銀行プラットフォームの構築



- 本件買収により、アジアにおいてリテール・SME banking への本格的な進出を実現
- 双方の強みを補完し合うことで、バランスの取れたユニークな銀行を構築

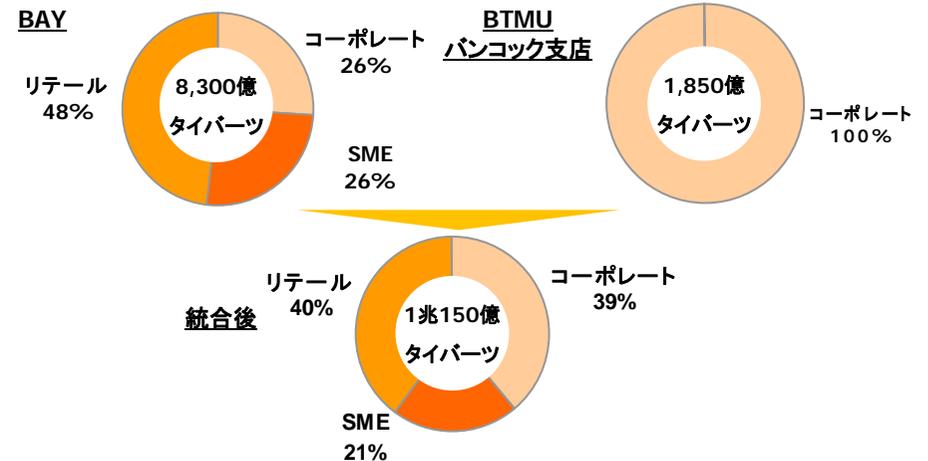
アジアにおけるリテール/SME banking 基盤を獲得

	日本	アジア	米国	欧州・中東・アフリカ
コーポレート	Strong base	Strong base	Strong base	Strong base
SME	Strong base	Focus growth area	Strong base	Strong base
リテール	Strong base	Focus growth area	Strong base	Strong base

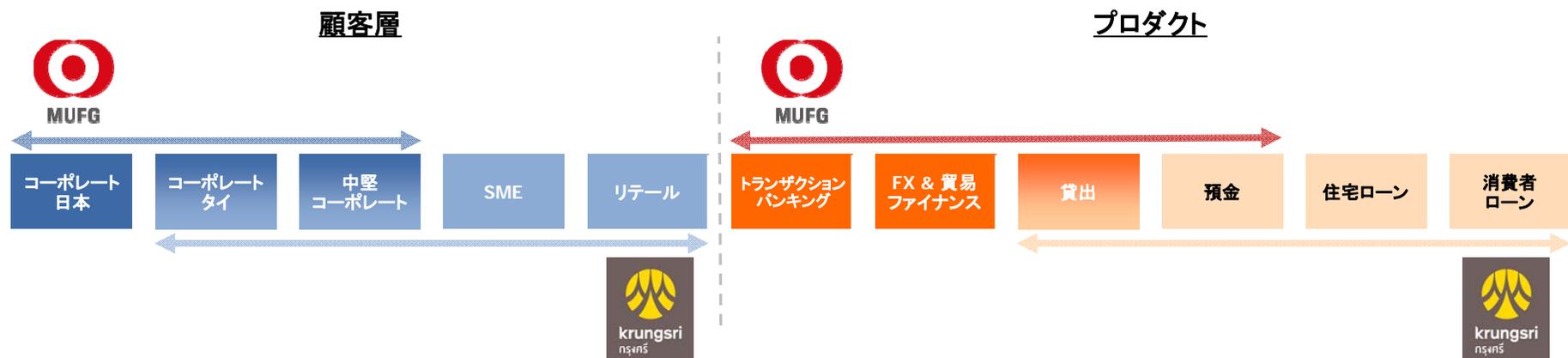
- 強力な基盤
- 重点成長分野
- 現状は限定的な事業展開



バランスの取れた貸出ポートフォリオ



顧客基盤・プロダクトにおける補完関係



タイにおける「グローバル×ローカル」銀行モデルの推進



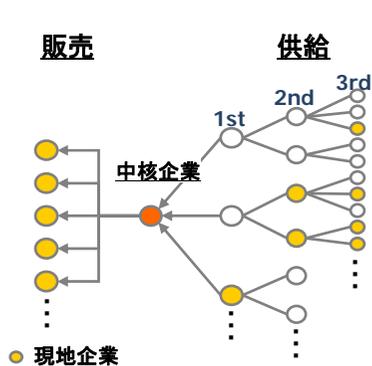
- 双方の顧客基盤・プロダクト力の活用によりシナジー効果を実現

MUFGのグローバル・プロダクト/サービスをBAY(Krungsri)の既存顧客に提供

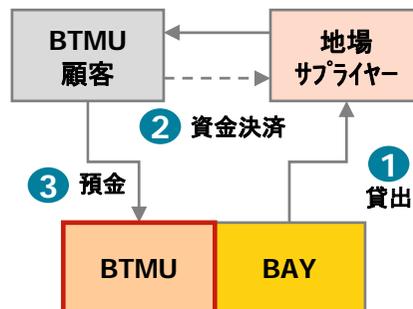


サプライチェーン・ファイナンス(SCF)

サプライチェーンのパターン

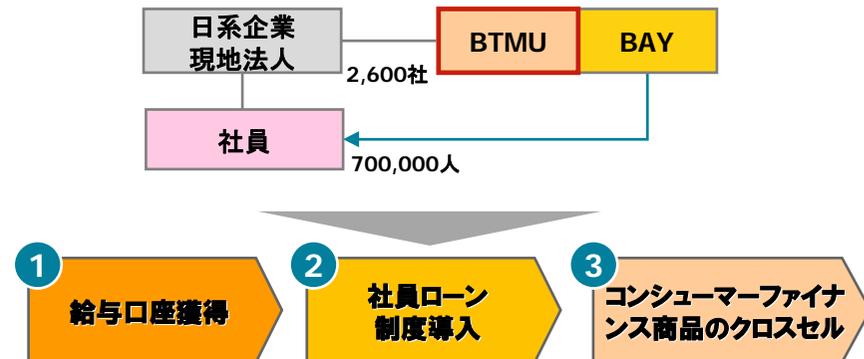


SCFと決済取引



リテール業務におけるクロスセル

法人顧客の従業員取引



3. BAYの概要



- タイで5番目の資産規模を誇る商業銀行
- 個人顧客からSME・コーポレートに対して、幅広い金融サービスを展開

基本情報*

設立	1945年
社員数	18,515人
支店数	605 (海外4支店)
ATM台数	4,388台
両替所	80箇所
First Choice (支店 + ディーラー)	27店舗 + 10,686店舗
Krungsri Auto (支店 + ディーラー)	43店舗 + 6,300店舗
Micro Finance CFGS (支店)	250店舗

各種受賞及び表彰

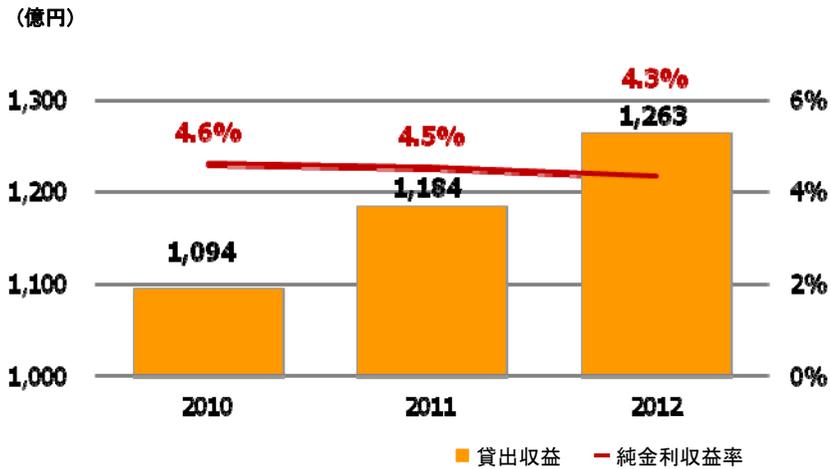


主要財務ハイライト ①

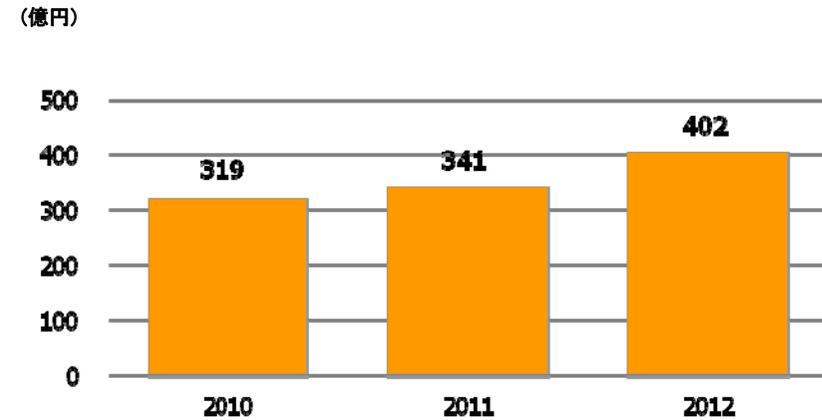


- 高い利益成長を実現し、高い収益性を維持

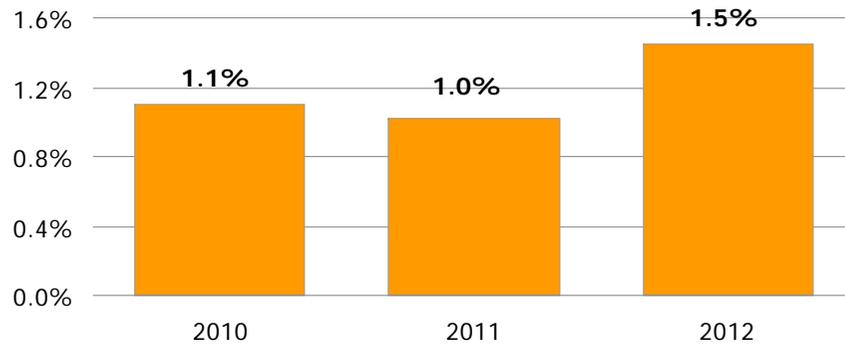
純金利収入



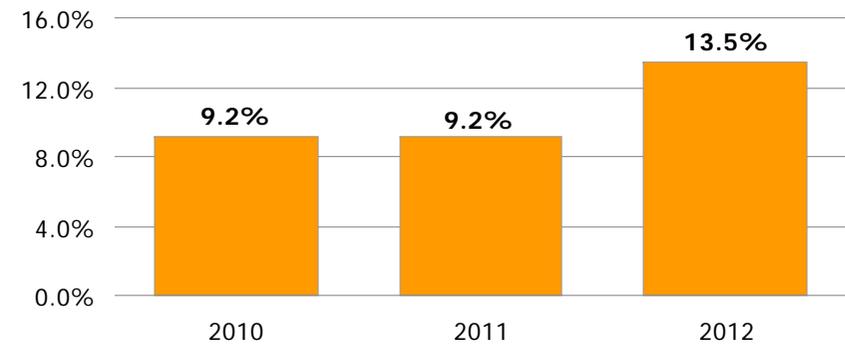
純手数料・サービス収入



ROA^{*2}



ROE^{*2}



*為替レート:THB1=3.16円

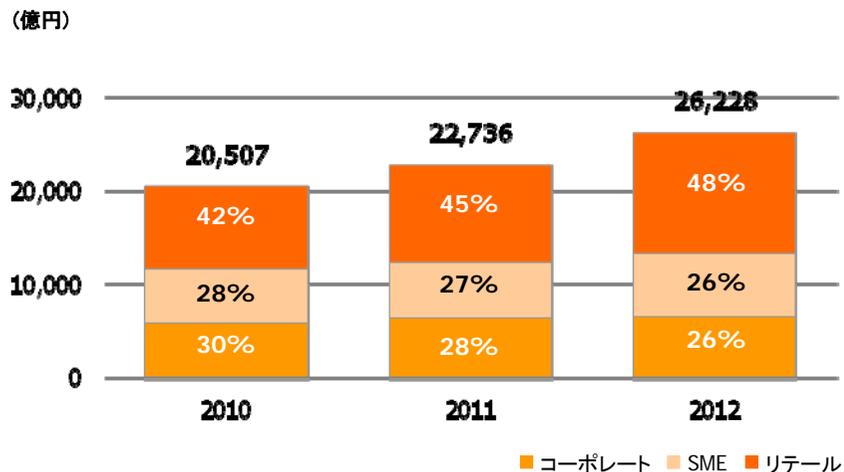
*2 2011年のROAとROEは、洪水と繰り延べ税金資産の切り下げが影響

主要財務ハイライト ②

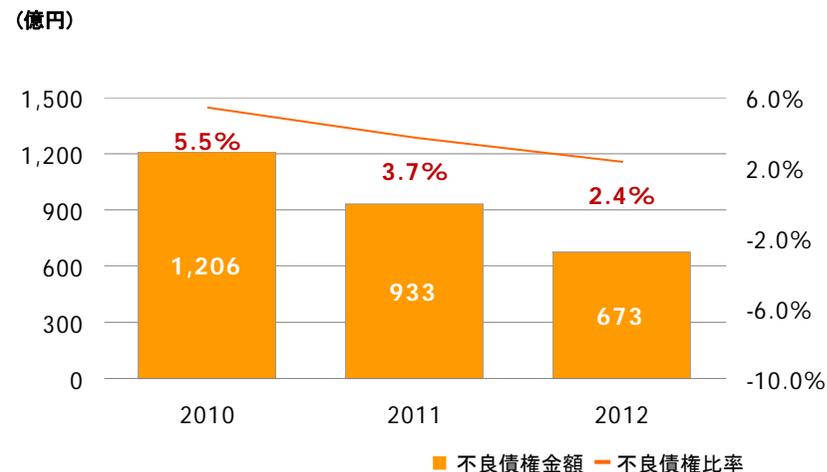


- 質の高い資産と高い自己資本比率を維持しながら、順調な貸出金・預金成長を実現

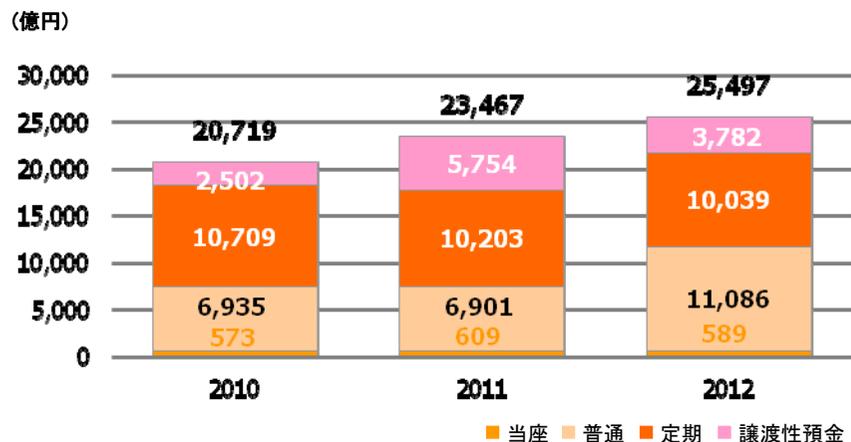
貸出金



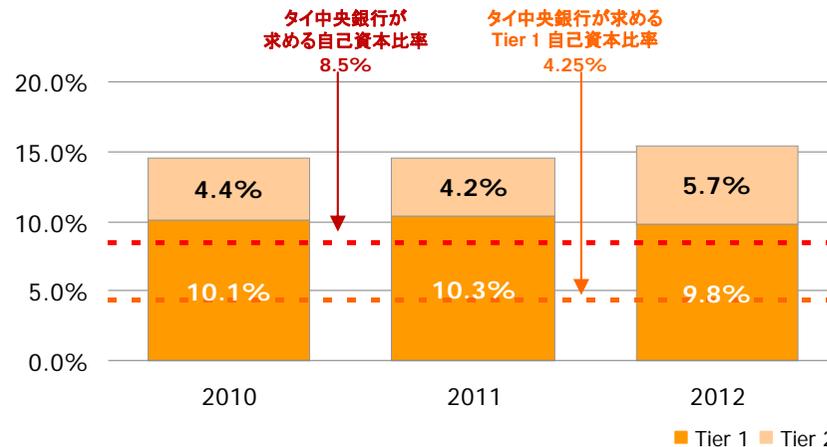
不良債権



預金



自己資本



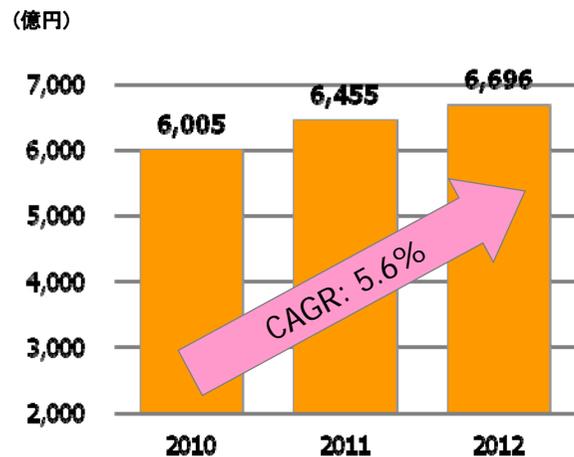
*為替レート: THB1=3.16円

主要財務ハイライト ③

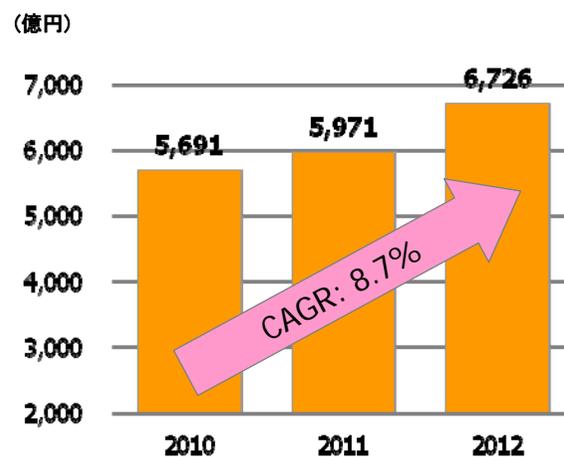


- オートローンや消費者ローンを中心としたリテール分野において飛躍的な成長を実現

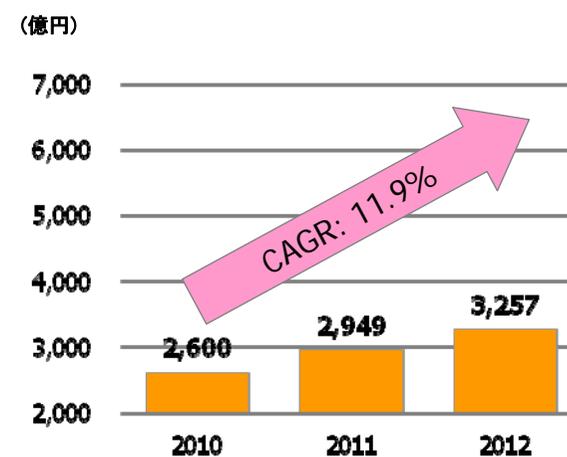
大企業



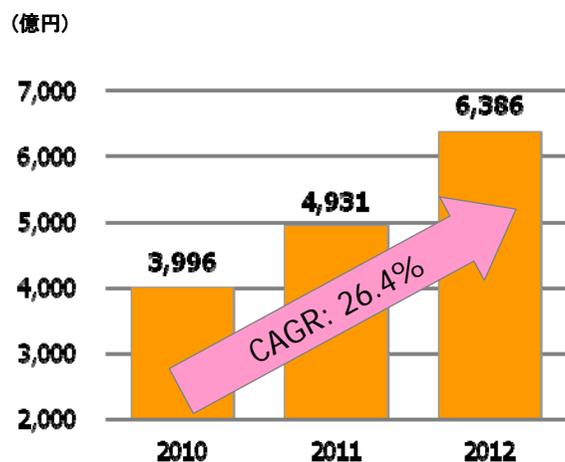
SME



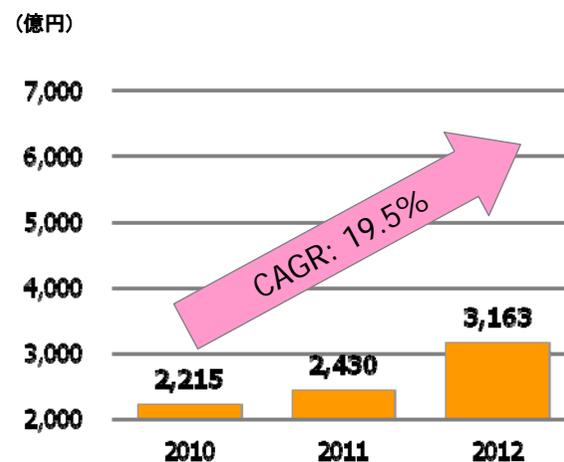
住宅ローン



オートローン



消費者ローン・クレジットカード



*為替レート: THB1=3.16円

4. 財務への影響

MUFGの資本比率は本取引後も引き続き強固な水準を維持



資本への影響

- 普通株式等Tier1比率(完全実施ベース*) : ▲50 – 60 b.p.

VTOにて50.1%取得した前提

*2019年3月末に適用される規制に基づく試算値

EPS/ROEへの影響

- 買収資金
 - 全て現金で対応(増資は不要)
- EPS/ ROEともに増加

添付資料

BAY財務指標



(タイバツ 百万)	FY2010*	FY2011*	FY2012*	CAGR(FY 10-12)
PL				
粗利益	51,527	55,305	61,189	9.0%
営業経費	26,796	27,477	30,798	7.2%
償却前営業利益	24,731	27,828	30,391	10.9%
純利益(少数株主持分除く)	8,793	9,265	14,626	29.0%
BS				
貸出	648,960	719,507	830,008	13.1%
コーポレート	190,046	204,286	211,914	5.6%
SME	180,104	188,955	212,834	8.7%
リテール	278,810	326,266	405,260	20.6%
預金	576,479	560,540	687,159	9.2%
総資産	869,834	947,798	1,071,966	11.0%
純資産	99,104	102,696	113,486	7.0%
	FY2010*	FY2011*	FY2012*	CAGR(FY 10-12)
主要財務指標				
純金利収益率	4.6%	4.5%	4.3%	
営業経費率	52.0%	49.7%	50.3%	
不良債権比率	5.5%	3.7%	2.4%	
預貸率	99.0%	96.9%	102.9%	
Tier 1 比率(バーゼルII)	10.1%	10.3%	9.8%	
ROA	1.1%	1.0%	1.5%	
ROE	9.2%	9.2%	13.5%	
その他				
支店数	590	588	605	1.3%
従業員数	9,727	10,077	10,410	3.5%

*決算期末は12月

BTMUバンコック支店財務指標



(タイバーツ 百万)	FY 2009*	FY 2010*(1)	FY 2011*	CAGR(FY 09-11)
PL				
粗利益	5,207	5,967	6,911	15.2%
営業経費	2,032	1,396	1,875	-3.9%
償却前営業利益	3,175	4,570	5,036	25.9%
純利益	2,218	3,096	3,168	19.5%
BS				
貸出	155,333	160,048	184,709	9.0%
預金	113,152	111,134	125,958	5.5%
預金(含むB/E:預金性運用商品)	221,791	233,162	181,985	-9.4%
総資産	330,813	449,267	500,218	23.0%
	FY 2009*	FY 2010*(1)	FY 2011*	CAGR(FY 09-11)
主要財務指標				
純金利収益率	1.2%	1.0%	1.5%	
営業経費率	56.2%	33.7%	25.4%	
ROA	0.8%	0.8%	0.7%	

*決算期末は3月
(1)FY2010より新会計基準